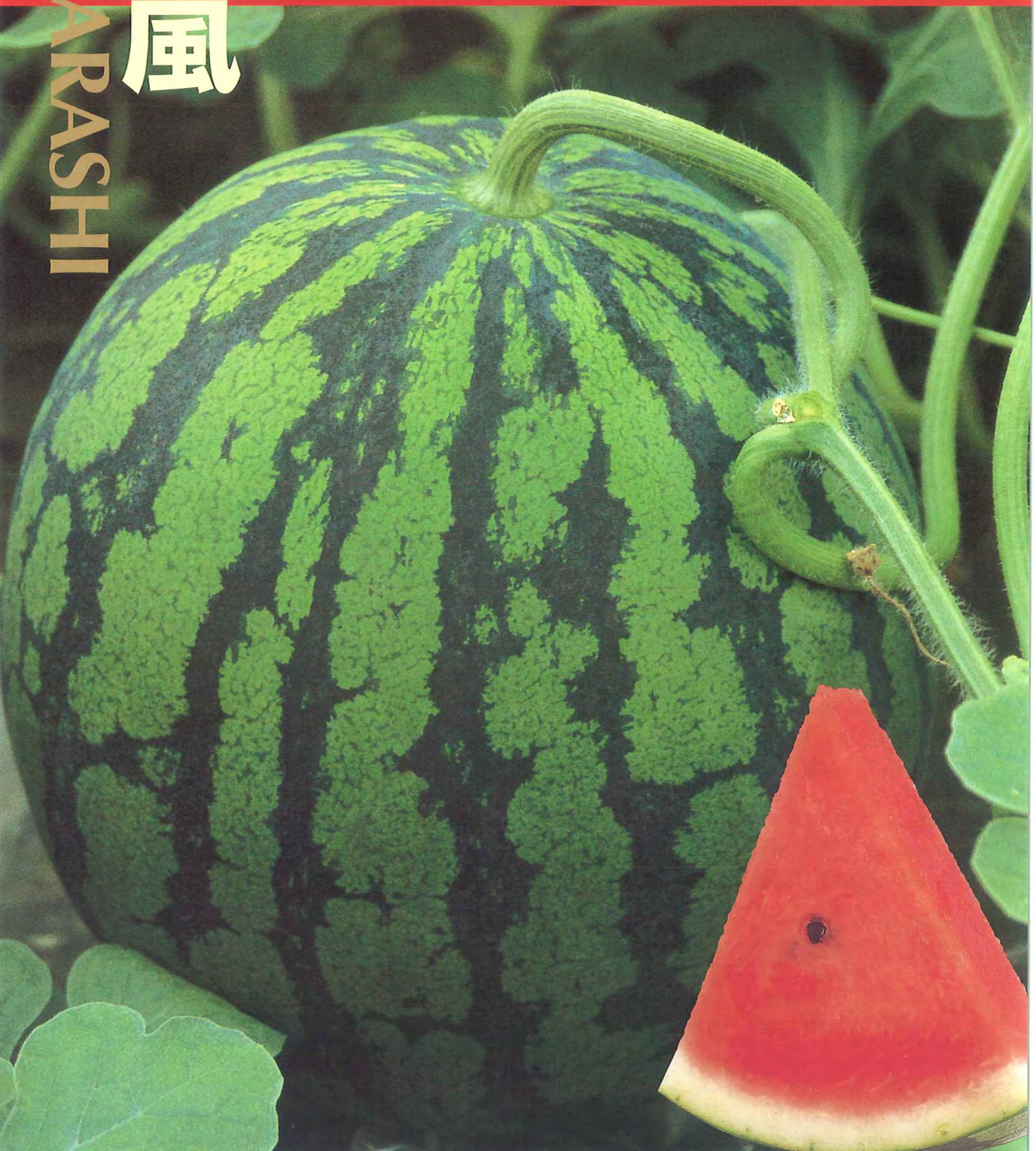


オコト交配

BENI  
ARASHI

紅  
嵐

- 玉伸び形状の良い中生種  
7~10kgの大玉種。
- 鮮やかな肉色と高糖度。



# 紅嵐 西瓜

BENI ARASHI

栽培の要点

栽培容易・形状の良い中生種。

## 特性

- 茎葉は濃緑色で小さく、日光の透過が良いため、日照不足の条件においても花の発育は良好であり着果性は高い。
- 空洞果・裂果の発生は少なく収量が安定する。
- 果実は7~10kgの大玉種で玉伸び良好、やや腰高の果形で良く揃う。
- 果肉は桃紅色で着色しすぎることがなく、梅雨時期や高温期においてもうるみ果の発生は少ない。
- 肉の硬さは中程度でシャリ感に富む。皮際と中心部の糖度差が少ないのも特徴で、糖度は、12~13度となり食味が良い。

## 作型と栽培のポイント

- 低温期には特に定植直後の保温に注意してスムーズな活着を促す。
- 温度管理の適応幅は広いが、着花から10日間程度は、晴天日の最高温度を35~40℃まで上げて果実の肥大を良くすると収量を多くあげることができる。
- 大型トンネル以降の作型では、4本仕立ての2果どり、もしくはそれ以上の多本出しでも、玉揃い・果実肥大や品質への影響が少ない。

## 整枝の省力化と温度管理

- 整枝は、雌花の生育を良好にするための作業であり、省力化を計るには出来るだけ孫ヅルの発生をおさえる管理をするとよい。同時に、3~4本の子ヅルの伸長を良好かつ均一化するには、ハウス、トンネルの昼間の温度管理と光線量との対比により、孫ヅルの発生が少なく、開花時期の花粉の発生や雌花の開花が良くなり着果が安定する。

栽培適期表

栽培型	月	日												
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ハウス I		○	○	●	●	■	■							
ハウス+トンネル 大型二重トンネル				○	○	●	●	■	■					
トンネル 地					○	○	●	●	■	■				



## 整枝の軽労化

- 促成栽培では、少日照のため子ヅルの発生・揃いが悪い。しかも着果適期の18節前後になると、葉面積過多で花粉発生・着果が安定しない。
- 親ヅルの摘芯後、発生した子ヅルを1節で再摘芯し、孫ヅル仕立てとすると株元の地温が高く、根の生育が良くなり、孫ヅル15~18節程度の着果しやすい節位でも果実の初期肥大が良くなり、収量・高品質のスイカを収穫することができる。